

平成29年度

事業報告書

公益財団法人鹿児島県学校給食会

概 要

学校教育活動の一環として実施される学校給食に対して、「学校給食用物資の適正かつ安定供給、学校給食の普及充実及び食育の推進等に関する事業を行い、もって児童及び生徒の心身の健全な発達に寄与することを目的」とし、学校給食用物資の安定供給に関する事業、学校給食の普及充実と食育の推進に関する事業、学校給食用物資の安全確保及び衛生管理に関する事業を実施した。

1 学校給食用物資の安定供給に関する事業（物資供給事業）

(1) 平成 29 年度の物資供給実績

物 資 供 給 状 況 一 覧 表

品 目	供給数量（単位：Kg）			金 額（単位：千円）		
	平成 28 年度	平成 29 年度	増 減	【比率%】 平成 28 年度	【比率%】 平成 29 年度	【対前年比率】 増 減
基 本 物 資				【64.8】 2,374,540	【65.3】 2,394,801	【0.8】 20,261
脱脂粉乳（調理用）	929	774	▲155	476	402	▲74
小麦粉製品計	534,759	542,026	7,267	387,058	398,866	11,808
（パン用）	525,496	533,092	7,596	382,909	394,841	11,932
（ソフトメン用）	9,263	8,934	▲329	4,149	4,025	▲124
精 米	413,690	404,510	▲9,180	139,922	135,661	▲4,261
炊 飯	765,063	758,719	▲6,344	530,416	536,621	6,205
牛 乳（本）	29,136,459	29,236,873	100,414	1,316,668	1,323,251	6,583
副 原 料	84,361	89,902	5,541			
パ ン 用 脱脂粉乳	16,113	16,366	253			
〃 砂 糖	28,095	28,905	810			
〃 マーガリン	28,095	28,905	810			
〃 米 粉	11,318	15,012	3,694			
ソフトメン用 ショートニング	463	446	▲17			
〃 脱脂粉乳	277	268	▲9			
一 般 物 資				【35.2】 1,290,524	【34.7】 1,274,276	【▲1.2】 ▲16,248
常温・冷蔵				535,094	534,801	▲293
冷 凍				755,430	739,475	▲15,955
計				【100】 3,665,064	【100】 3,669,077	【0.1】 4,013

※ 主な増減の理由

基本物資 ・米粉パンの増、精米の値上げなど

牛 乳 ・前年度、異臭問題で牛乳供給ストップが発生

一般物資 ・県内産牛肉の供給減など

(2) 学校給食の基本物資（主食）供給事業

- ア 精米供給（炊飯を行っている学校・学校給食センター）＜県内産「あきほなみ」「早期コシヒカリ」等＞
- イ 炊飯供給（20工場に委託）＜県内産「あきほなみ」「早期コシヒカリ」等＞
- ウ パン供給（29工場に加工委託）、ソフトめん供給（2工場に加工委託）
- エ 牛乳代金徴収業務

(3) 地場産物等一般物資（副食）の供給事業＜物資委員会による取扱物資の選定＞

- ア 中国・九州地区共同購入物資（35品目）
- イ 九州地区共同購入物資（冷凍食品 年間19品目）
- ウ 県産品及び県内加工品等（常温食品24品目、冷凍食品56品目）
- エ 地場農畜水産物利用拡大（県内産冷凍野菜の供給拡大）

2 学校給食の普及充実と食育の推進に関する事業（普及充実事業）

学校給食法では、学校給食が児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものとして、その普及充実と学校給食の持つ食育推進上の教育的意義を明確にしている。当会は、学校給食の円滑な実施及びその充実発展に資するため、県教育委員会等との共催による、講習会等を開催し、学校給食関係者の資質向上と専門的知識を備えた人材の育成を支援した。

また、食材に関する情報の提供、地場産物をとおした地域の食文化等の情報を発信するとともに食育情報拠点として、学校給食情報交換会の実施やホームページ、広報誌による広報を行うとともに指導資料等の貸出しを通じて学校における食に関する指導を支援した。

(1) 講習（研修）事業

ア 学校給食調理技術講習会（主催）

【趣 旨】 学校給食の内容を魅力的で豊かなものにするとともに、鹿児島県食材の活用を推進するため、調理技術等について講習会を行い、学校給食関係者の技術の向上と学校給食の改善充実に資する。

【対 象】 国立、公立の小・中・高等学校及び特別支援学校並びに学校給食共同調理場等に勤務する栄養教諭・栄養職員及び調理員、市町村教育委員会に勤務する栄養士

【期 日】 平成30年2月21日(水)

【内 容】 外部招へい講師による調理実習及び講義
講師 中国料理 四川飯店オーナーシェフ 陳 建一

【受講料】 無料

【参加者】 44人

イ 九州地区健康教育研究大会

平成29年度は、佐賀県で開催され、本会取扱の黒糖ビーンズの展示を行った。

ウ 学校給食用パン品質審査会の開催

【趣 旨】 学校給食用パンの品質向上を図るために、専門家による品質審査を実施し、その結果をもとに委託加工工場への指導を行うとともに、製造関係者の技術の向上と学校給食の改善充実に資することを目的とする。

【対 象】 県内委託29工場

【期 日】 平成29年11月24日(金)

エ 学校給食用パン・炊飯加工技術講習会

【趣 旨】 学校給食用パン・米飯製造関係者を対象に、加工技術の向上を図るため、技術指導を行う。

【期 日】 平成30年3月27日(火)

オ 学校給食に関する研修講座

【趣 旨】 学校給食の充実と食育の推進を目的として、夏季休業中に研修講座を開講し、学校給食関係者の研鑽の場とする。

【対 象】 栄養教諭・学校栄養職員・養護教諭・調理員等

【受講料】 無料

【講座名・参加者】

講 座 名	開 催 日	参加人数
スチコンを使った料理の研究講座	平成 29 年 7 月 25 日(火)	4 人
学校給食における食物アレルギーに関する講座	平成 29 年 8 月 1 日(火)	49 人
学校給食パン作り講座	平成 29 年 8 月 2 日(水)	30 人
魅力ある献立作成のためのパソコン講座	平成 29 年 8 月 9 日(水)	18 人
学校給食の衛生管理講座	平成 29 年 8 月 18 日(金)	65 人
計		166 人

(2) 情報収集・提供事業

ア 学校給食情報交換会（年 2 回実施）

学校給食に関わる情報交換や工場視察を行い、併せて、学校給食の充実・発展に資するため学校給食センターや県学校栄養士協議会等学校給食関係者、県 P T A 連合会役員、県産品推進協議会会員の参加による年 2 回の情報交換会を実施した。

【期 日】 平成 29 年 10 月 13 日(金) 第 1 回学校給食情報交換会（参加 37 人）

- ・ JA 経済連食品総合研究所視察
- ・ 鹿児島パールライス株式会社視察

平成 30 年 2 月 14 日(水) 第 2 回学校給食情報交換会（参加 49 人）

- ・ 本会会議室

イ 広報誌「学校給食かごしま」の発行（年 2 回）

ウ 献立集の作成・配布（年 4 回）

学校給食内容の充実を図るため、当会の取扱物資・地場産物等を使った春夏秋冬の季節毎の献立集を年 4 回作成し、学校給食センターや学校等へ配付した。

エ 学校給食用物資展示会（年 1 回 入場者 292 人）

県内各市町村の学校や学校給食センター等の学校給食関係者を対象に本会が取り扱っている物資を展示し、献立や調理方法等を紹介した。物資等の展示は、県産品活用推進協議会会員を始めとして県内 10 業者、県外 22 業者が行い、本会は食に関する指導資料等の展示、食品検査器具の展示・実演・取扱説明等を行った。

【期 日】 平成 29 年 7 月 28 日(金)

(3) 学校給食研究団体等への助成（学校給食研究団体等助成金交付要領による）

【助成対象】 地区学校給食連絡協議会、県学校給食センター連絡協議会

【助成内容】 研究会・講習会開催事業、学校給食の調査研究事業等に対して、1 団体 20 万円を上限に助成した。

【助成先】

①地区学校給食連絡協議会 9 地区 助成額：202,000 円 単位：円

1 鹿児島市郡区	50,000	4 川薩地区	15,000	7 肝属地区	20,000	
2 南薩地区	33,000	5 伊佐・始良地区	27,000	8 熊毛地区	10,000	
3 日置地区	12,000	6 曾於地区	13,000	9 大島地区	22,000	
					計	202,000

②県学校給食センター連絡協議会

助成額：200,000 円

(4) 食育支援事業

ア 食のふるさと探険隊（年1回開催）

【趣 旨】 児童生徒及びその保護者で本県の地場産物の生産地や工場を訪ね、生産、加工、流通の実態を学び、体験や交流活動を通して本県の産物への関心を高めるとともに、食に関する正しい知識と理解を深める。

【対 象】 県内の国公立小・中学校及び国・県立特別支援学校の児童生徒とその保護者

【期 日】 平成29年7月21日(金)

【場 所】 指宿市内農場、えぷろんはうす池田

【参加料】 無料

【参加者】 36組 78人

イ 親子お魚教室（年1回開催）

【趣 旨】 水産資源の豊富な本県の子どもたちが親子で参加して、魚にふれ、そのさばき方や調理方法を学ぶことで、魚や魚料理に興味・関心を持たせるとともに、魚好きの子どもを育てる。また、家庭での魚料理が増えることにより、地域や家族ぐるみの日本型食生活を推進し、健康増進を図ることを目的として実施する。

【対 象】 県内の小学校3年生以上の親子

【期 日】 平成29年8月22日(火)

【場 所】 本会 調理室

【参加料】 無料

【参加者】 親子16組(32人)

ウ 食育指導教材（フードモデル・ビデオ・DVD・紙芝居等）の貸出し

学校での食に関する指導の教材として貸出し、食育の指導を支援する。貸出に当たっては、原則として、優先順位は設けず、無償で、先着順に貸出した。

【H29実績】 年間185件

ビデオ・DVD	紙芝居	フードモデル	計
26	70	89	185

(5) 施設（調理実習室・研修会議室等）の開放

【H29実績】 始良・伊佐地区学校栄養士協議会他 延べ 7日間(311人)

(6) 学校給食関係功労者等の表彰

【趣 旨】 県内の学校給食の普及充実及び発展向上に努めた団体又は個人に対し、その功績に報いるために表彰規程に基づき表彰するものである。

【表彰対象者】 学校給食関係専従職員、学校給食業務の団体・個人他

【H29実績】 個人12人、委託加工工場2工場

(栄養教諭5人、調理員等5人、委託加工工場2工場、理事2人)

3 学校給食用物資の安全確保及び衛生管理に関する事業（衛生管理事業）

学校給食に使用される物資は、成長期の児童生徒の心身の健全な発達に資するものだけに、特に品質的に優れ、かつ衛生上安全なものでなければならない。このため本事業を通じて、物資の品質や安全性確認のための品質検査や委託加工先（パン、炊飯、めん）への立入検査及び指導助言を行うほか、学校給食共同調理場の施設及び設備の衛生管理並びに栄養教諭及び調理員等を対象にした衛生管理に関する講話や衛生検査の実習、検査器具の貸与等を積極的に行うことで、食中毒等の食に対する危機の回避や関係者の意識・知識の向上等により、学校給食の安全確保を図った。

(1) 取扱物資等の検査事業

【検査方法等】 食品衛生法や日本冷凍食品検査協会指導基準、JAS法等に定められた方法に準拠して行い、品質や衛生の確認を行っている。また、学校給食用精米、米粉及び学校給食用パン小麦粉については、残留農薬検査及び放射性物質検査を、さらに学校給食用精米、米粉についてはDNA品種判別検査及びカドミウムの検査を、外部の専門機関に委託し、安全性の確認に努めた。

検査実績

	検 体 数	検 査 数	摘 要 (検査項目等)
細菌検査	675	3,369	一般細菌数,大腸菌,大腸菌群,サルモネラ,黄色ブドウ球菌,カンピロバクター,腸炎ビブリオ,ウエルシュ菌,腸管出血性大腸菌 O157,クロストリジウム属,カビ,酵母,他
理化学検査	725	2,677	栄養成分(塩分 たんぱく質 脂質 カルシウム 水分等),食品添加物,溶出スズ, pH 真空度,酸価,過酸化価,ヒスタミン,新鮮度,可溶性固形分,アレルギー物質(乳 卵 小麦粉),残留農薬(簡易法),カビ毒(アフラトキシン),他
計	1,400	6,046	

(2) 委託加工工場の衛生検査, 実態調査の実施

【検査概要】 学校給食用パン、炊飯、ソフトめん委託加工工場の施設設備、環境衛生、原料等の適正保管及び受払い等について、毎年実態を調査し実地指導。また、容器等について、拭き取りによる細菌検査及び清浄度検査（理化学検査）を実施し、衛生確保のための助言を行った。

【実施工場数】 19 工場

【検査対象数】 パン容器、米飯容器、トル設備等 140 検体

【検査内容・実績】 細菌検査(一般細菌数、大腸菌群) 洗浄度検査 571 項目

(3) 訪問衛生検査

【検査概要】 学校・学校給食センター等からの依頼（申請）により、調理施設内の器具・機材、調理従事者の手指・鼻腔及び食器具を対象として、細菌検査、清浄度検査及び洗浄度検査の各項目を実施し、検査結果報告書を実施先に回答

【検査内容・実績】 9 施設 細菌検査・清浄度検査・洗浄度検査 463 検体 813 項目

(4) 依頼品の検査事業

【検査概要】 学校給食関係者からの依頼により、食器具の洗浄度確認のための残留物検査を行い、報告書を作成。また、学校給食用物資展示会において、学校給食関係者が持参した食器具の検査を関係者とともに行った。(21 箇所、食器数 182 個)

(5) 検査機器及び衛生関係 DVD の貸出し

【概要】 学校給食調理場で関係者が行う衛生検査に必要な検査機器及び衛生関係 DVD を無償で貸出し、衛生管理や衛生意識の向上の一助としている。貸出しに当たっては、優先順位は設けず、先着順に貸出を決定している。

【貸出実績】 ミニふらん器、ルミテスター、手洗い上手、糖度計、塩分計、衛生関係 DVD を 50 箇所へ貸出した。

(6) 「食品検査室だより～うみなぎ～」の作成・配付（毎月（9月を除く）1回）300部

【内容】 食品衛生情報、検査実施内容・結果、訪問衛生検査申込、貸出検査機器の紹介等

(7) 衛生講話講師派遣

【派遣先】 県総合教育センター、県学校給食センター連絡協議会等

【派遣回数】 10 回

4 事業報告の附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない

5 その他

1 評議員・理事及び監事（平成30年3月31日現在）

任 期 評議員 平成28年6月7日～平成32年度定時評議員会の終結の時まで
 理 事 平成28年6月7日～平成30年度定時評議員会の終結の時まで
 監 事 平成26年6月1日～平成30年度定時評議員会の終結の時まで

	氏 名	所 属 (役 職)	常 勤 非常勤
評議員	勝 間 田 収	霧島市立宮内小学校長	非常勤
〃	市 来 さつき	鹿児島県学校栄養士協議会会長 (さつま町立宮之城学校給食センター栄養教諭)	〃
〃	満 留 三 成	鹿児島県学校給食センター連絡協議会 (鹿児島市立谷山学校給食センター所長)	〃
〃	中 山 恭 平	鹿児島県教育庁始良・伊佐教育事務所長	〃
〃	高 田 肥 文	霧島市教育委員会教育長	〃
〃	西之園 眞	肝付町教育委員会教育長	〃
〃	川 原 慎 一	鹿児島県PTA連合会会長	〃
〃	坂 元 きよみ	元鹿児島県小・中学校養護教諭	〃
〃	中 馬 和 代	元鹿児島県学校栄養士協議会会長 (鹿児島純心女子短期大学教授)	〃
〃	今 村 佳 代 子	鹿児島純心女子大学講師	〃
理 事	石 元 優 子	始良市立蒲生中学校長	〃
〃	二間瀬 栄 一	鹿児島県学校栄養士協議会副会長 (国分地区南部学校給食センター栄養教諭)	〃
〃	徳 田 弘 美	鹿児島県学校給食センター連絡協議会 (志布志市立志布志学校給食センター所長)	〃
〃	岩 元 幸 成	鹿児島県教育庁保健体育課長	〃
〃	中 野 健 作	鹿屋市教育委員会教育長	〃
〃	岸 尾 隆	鹿児島県市長会事務局長	〃
〃	寺 村 佐 穂	鹿児島県PTA連合会副会長	〃
〃	植 木 ともえ	保護者	〃
〃	豊 島 真 臣	公益財団法人鹿児島県学校給食会	常 勤
〃	羽 生 義 隆	公益財団法人鹿児島県学校給食会	〃
監 事	小 松 信 明	元鹿児島市立鹿児島商業高等学校長	非常勤
〃	内 田 雄二郎	鹿児島市立福平小学校長	〃

2 会議等

ア 評議員会

	開催年月日	主要審議事項等
定時評議員会	平成29年6月6日	1 議事録署名人の選任について 2 平成28年度事業報告及び決算について 3 評議員の補充選任について 4 理事の補充選任について
臨時評議員会	平成29年6月28日	理事の補充について豊島真臣を選任する（書面による決議）
臨時評議員会	平成30年3月26日	1 定款の変更について 2 役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規定の一部改正について 3 平成30年度事業計画及び収支予算について

イ 理事会

	開催年月日	主要審議事項等
定例理事会	平成29年5月18日	1 理事の職務の執行状況について報告 2 平成28年度事業報告及び決算について 3 定時評議員会の招集について
臨時理事会	平成29年6月26日	理事の補充選任するために、臨時評議員会を招集する （書面による決議）
臨時理事会	平成29年6月30日	豊島真臣を代表理事に選定し、理事長とする （書面による決議）
定例理事会	平成30年3月6日	1 理事の職務の執行状況について報告 2 平成30年度事業計画書及び収支予算書について 3 臨時職員就業規則の一部改正について 4 育児・介護休業等規程の一部改正について 5 特定資産積立資金（管理棟建設費）積立計画について 6 平成29年度臨時評議員会の招集について

ウ 監事監査

	開催年月日	主要事項
監事監査	平成29年5月10日	平成28年度に係る業務及び会計監査 （監査人 小松監事、内田監事）

エ 外部監査

	開催年月日	主要事項
監査契約に基づく監査	平成29年5月9日	平成28年度に係る会計監査